

季節の生け花

太宰府市華道連盟



向井

久子

(太宰府市水城区)

池坊

花材 コニファー、きぎょう、つた

人権標語

気づいてあげて
相手の気持ち
うらの声

太宰府小5年(応募時)
た 多久島 しま はるか
はるか 遥さん

つれづれ

太宰府短歌会

脈拍の乱れを訝り我が心
見透す如しナースの言葉は

青山 亀淵 咲子

街路樹のマロニエの花咲き始む
ヨーロッパの香り夫との香り

福岡市 玉本 朝子

大輪の白ばら一枝鉢に立つ
ジャンヌダルクの如くスックと

青山 磯村 順一郎

手術終へストレチャャにて三時間
安静に過ごす酸素マスクで

都府楼南 猪俣 泰夫

少しずつ能動態から受動態へ
可愛く老いたしコスモスの花

五条 大穂 聡子

太宰府俳句会

仮殿に凜と飾られ花菖蒲

馬場 有岡 和砂

古墳めく丘に茅花流しかな

国分 松尾 満子

やれやれと白玉だんご口にする

五条 兼田 和加子

梅雨さなか家庭菜園ままならず

高雄 西元 治雄

馬籠宿早苗田までも江戸情緒

小都市 宮原 勝彦

飛梅句会

草笛の風となりゆく夕野かな

福岡市 工藤 友子

草笛の高音に雲の流れゆく

大野城市 田代 りえ子

母許の変わらぬ暮し胡瓜苗

長浦台 徳賀 美智子

草笛の響く夕べや星光る

馬場 野上 コト子

草笛の一節吹けてより素直

観世音寺 野田 杉子

宝満句会

新樹風客は五人の縄電車

筑紫野市 名本 剛

山門を入れれば燃え立つ新樹かな

高雄台 川路 泰子

街路樹の深まる新樹海の色

大佐野台 金丸 恵子

限りなく目には優しき新樹かな

星ヶ丘 江里口 幸生

戒壇院会釈し過ぐる新樹道

筑紫野市 羽野 喜久代

都久志てんじん句会

白孔雀羽根広々と薄暑光

青葉台 彦坂 正孚

壁に掛く母の絶筆夏に入る

福岡市 宮津英里子

分蜂の老木めざす新住まい

筑紫野市 日永田忠孝子

サックスの音色遙かに立夏かな

福岡市 塩飽たか子

幼子の額の湿り立夏かな

筑紫野市 貞金 志帆

太宰府川柳倶楽部

書くカスマホ時代に試される

都府楼 杉 良子

何故戦怯える子らにもらい泣き

観世音寺 河原 明子

言い得て妙ことばが弾むコラム欄

星ヶ丘 武末 次生

浜名湖のうなぎが繋ぐ子の便り

観世音寺 松浦 ちえ

なぜなぜと幼子の問いうろたえる

大野城市 高巢 富美子